

ハンドブック ワンポイント レッスン

知っておきたい規則とルール

Question

以前、トスを上げる前に、地面にボールをつく動作をすると、フォルトになるというような事を聞いたことがあったように思います。また、別の人からは、トス前に地面にボールをつくのはルール上フォルトにはならず大丈夫と聞いたことがあるのですが、実際はどうなのでしょうか。

Answer

トスを上げる前に、地面にボールをつく動作を繰り返すと、連続的プレーに違反することに該当し、警告（イエローカード）に発展します。

トスを上げる前に、地面にボールをつくことは、実はフォルトではなく、連続的プレーに違反することに該当します。

ところで、ある地域で大変ソフトテニスの普及に力を入れられた指導者がトスを上げる前に、地面にボールをつくことを何とかして止めさせようと思ひ、ボールをつくと「フォルトになる」といって、地面にボールをつくことを止めさせようと努力されたことがもれ伝わったのでしょうか。

さて、第21条（サービスの時期）サービスは正審のコールがあった後、レシーバーに用意が出来ていることを確認して、すみやかに行わなければならない。とあり、サービスの構えに入りトスを上げる前に地面にボールをつく動作は、第15条（プレーヤーの心得）の第2号に、マッチの開始から終了まで連続的にプレーし、次の行為をしてはならない。ア 相手がレシーブの構えをしているのにサービスをせず、又は相手方がサービスをしようとしているのにレシーブの構えをしない事。イ 故意にゲームを長引かせる行為をすること等に該当し、

第41条（警告）へと発展し、イエローカードを与える事になります。

ここで事例をあげて見たいと思います。サービス時に正審がコールをした後、①相手方が構えているにもかかわらず地面にボールを数回ついてからサービスをするプレーヤー、②アンダーカットサービスの構えで、ラケットを数回素振りをしてからサービスするプレーヤー、③ハイ・ハイ・ハイと数回声を出して、それからサービスをするプレーヤー等がありますが、これらは第15条（プレーヤーの心得）第2号の連続的プレーに違反することに該当し、厳密に言えば警告（イエローカード）の対象となります。アンパイヤーは、上記の様な連続的プレーに違反することに該当すると判断した場合は、「レッツプレー」のコールにより、すみやかにプレーをするようプレーヤーに促すことが必要となります。それでもアンパイヤーの指示に従わない場合は、第15条第3号「アンパイヤーの指示に従いプレーすること。」に該当し、プレーヤーに対しイエローカードを与える事になります。ルールに違

反することはしないほうがよいことに決まっています。ただし、運用の実際としては、サービスをする前にたとえ1度でもボールをつくことが度重なれば警告を行うようお願いをして来ましたが、マッチ中1回ついた程度であるならば進行を妨げたということにはならないという解釈で、警告の対象になくともよいという方針で、アンパイヤーの判断にゆだねているのが現状です。

【関連規則】

競技規則第15条（プレーヤーの心得）

(2) ア、イ、(3)、〔解説5〕

競技規則第21条（サービスの時期）、〔解説8〕

競技規則第41条（警告）

審判規則第7条（アンパイヤーの心得）第1号

ジュニア審判マニュアル

競技規則について

4. プレーヤーがよくわかっていなければならないこと（心得）

(2) ②③ (3)

7. サービス (1) いつサービスを打つのか？

17. 警告

ボールをつく回数が多いな！
さっき「レッツプレー」で
注意したし、レシーバーも
用意しているから「イエロー
カード」を提示しよう。

